

# 医学総論

# I 保健医療論 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考	
1 健康・疾病・障害の概念と社会環境 約 20%	A 健康の概念	1 健康の定義		
		2 健康の概念の歴史的変遷		
	B 環境と健康	1 宿主		
		2 病因		
		3 環境		
		4 行動		
	C 社会環境の変動と国民の健康	1 人口構造の変化		
		2 疾病構造の変化		
		3 生活様式・家族の変化		
		4 地域社会の変化		
		5 産業構造の変化		
	D 疾病・障害の概念と社会	1 機能障害<impairment>、活動制限<activity limitations>、参加制約<participation restrictions>		
		2 QOL<quality of life>		
3 ノーマライゼーション、バリアフリー				
2 社会保障制度と医療経済 約 10%	A 社会保障の概念	1 自助、互助、公助		
		2 社会福祉		
		3 社会保険		
		4 公衆衛生と医療受給		
		5 自立支援医療		
	B 医療保険と公費医療	1 医療保険の種類と対象		
		2 公費医療の種類と対象		
		3 保険医、保険医療機関、保険医療機関及び保険医療養担当規則		
	C 医療経済	1 国民医療費		
		2 医療費負担と給付		
	3 保健・医療・福祉・介護の仕組み 約 15%	A 日本の保健・医療・福祉・介護制度の特徴	1 国民皆保険	
			2 全国保健所網	
3 母子保健制度				
4 高齢者保健制度				
5 介護保険制度				
6 障害者自立支援制度				
B 保健・医療・福祉・介護の組織と連携		1 国と地方公共団体		
		2 保健所		
		3 地方衛生研究所		
		4 市町村保健センター		
		5 社会福祉関係施設		
		6 児童相談所、福祉施設		
C 高齢化・少子化社会・障害児<者>への対応		1 三計画<医療計画、健康増進計画、介護保険事業支援計画>		
		2 健康日本21、健やか親子21		
		3 次世代育成支援対策推進法		
	4 新障害者プラン			
	5 介護計画			

大項目	中項目	小項目	備考
		6 介護予防	
	D 在宅ケア	1 在宅医療	
		2 訪問看護	
		3 在宅介護	
		4 訪問リハビリテーション、 通所リハビリテーション	
		5 地域保健福祉活動	
4 保健・医療・ 福祉・介護の 資源 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の 施設と機能	1 病院	
		2 診療所	
		3 地域医療支援病院	
		4 特定機能病院	
		5 療養病床	
		6 助産所	
		7 保険薬局<医薬分業>	
		8 介護保険施設〔介護老人福 祉施設<特別養護老人ホー ム>、介護老人保健施設、 介護療養型医療施設〕	
		9 居宅サービス	デイサービス、デ イケア、ショート ステイ、グループ ホーム
		10 訪問看護ステーション	
		11 保健センター	
		12 児童相談所	
		13 要介護認定と介護サービ スプラン<ケアプラン>	
		14 有料老人ホーム	
		15 医療安全支援センター	
		16 地域包括支援センター	
	B 保健・医療・福祉・介護従 事者	1 保健・医療・福祉介護従事 者の現状と役割	
		2 連携とチーム医療	
		3 医行為と診療補助行為	
		4 保健・福祉・介護ボランテ ィア	
	C 保健・医療・福祉・介護情 報システム	1 疾病登録	
		2 情報収集、情報処理、個人 情報保護	
5 保健・医療・ 福祉・介護関 係法規 約15%	A 医事	1 医師法	
		2 医療法	
		3 刑法<秘密漏示の禁止、墮 胎の禁止、虚偽私文書作成 の禁止>	
		4 死産の届出に関する規定	
		5 死体解剖保存法	
		6 臓器の移植に関する法律	
		7 医学及び歯学の教育のた めの献体に関する法律	
	B 薬事	1 薬事法	医薬品医療機器総 合機構、医療機器 のクラス分類

大項目	中項目	小項目	備考
		2 毒物及び劇物取締法	
		3 麻薬及び向精神薬取締法	
		4 覚せい剤取締法	
	C 地域保健	1 地域保健法	
		2 健康増進法	
	D 母子保健	1 母子保健法	
		2 母体保護法	
		3 児童虐待の防止等に関する法律	
	E 成人・高齢者保健	1 高齢者の医療の確保に関する法律<高齢者医療確保法>	
		2 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律<DV法>	
		3 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	
	F 精神保健	1 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>	
		2 自殺対策基本法	
		3 民法<成年後見制度>	
	G 感染症対策	1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律<感染症法>	
		2 検疫法	
		3 予防接種法	
	H がん対策	1 がん対策基本法	
	I 食品保健	1 食品衛生法	
	J 学校保健	1 学校保健法	
	K 産業保健	1 労働基準法	
		2 労働安全衛生法	
		3 労働者災害補償保険法	
		4 じん肺法	
	L 環境保健	1 環境基本法	
		2 公害健康被害の補償等に関する法律	
		3 水道法	
		4 下水道法	
		5 廃棄物の処理及び清掃に関する法律<廃棄物処理法>	
		6 建築物における衛生的環境の確保に関する法律<建築物衛生法>	
M 医療保険	1 健康保険法		
	2 国民健康保険法		
N 社会福祉・介護	1 老人福祉法		
	2 生活保護法		
	3 児童福祉法		
	4 遺伝及び母子感染症に関する法律		
	5 障害者基本法		

大項目	中項目	小項目	備考
		6 身体障害者福祉法	
		7 知的障害者福祉法	
		8 介護保険法	
		9 障害者自立支援法	
		10 発達障害者支援法	
		O 倫理	1 個人情報保護法
6 地域保健、地域医療 約 15%	A 地域保健・地域医療と医師の役割	1 医師会	
		2 地域組織活動	
		3 都道府県医療対策協議会	
	B 医療計画	1 医療圏	
		2 基準病床数	
		3 資源の有効利用	
		4 地域連携クリティカルパス	
	C プライマリヘルスケア	1 プライマリヘルスケアの概念と機能	
		2 アルマ・アタ<Alma Ata>宣言	
	D 健康増進とヘルスプロモーション	1 健康増進の概念	
		2 ヘルスプロモーションの概念、オタワ憲章、バンコク憲章	
		3 健康日本21、健やか親子21	
		4 健康増進法	
	E 救急医療	1 救急医療体制	ドクターヘリ
		2 初期・2次・3次救急医療	
		3 救命救急センター	
		4 病院前救護	救急救命士
	F 災害医療	1 災害時保健医療活動	
		2 災害拠点病院	
		3 トリアージ	
		4 広域災害医療	
	G へき地医療	1 へき地中核病院	離島医療
		2 無医地区	遠隔医療
	7 国際保健 約 10%	A 世界の保健・医療問題	
B 国際保健・医療協力		1 国際連合<UN>	
		2 世界保健機関<WHO>	
		3 国際労働機関<ILO>	
		4 国連児童基金<UNICEF>	
		5 国連食糧農業機関<FAO>	
		6 国連合同エイズ計画<UNAIDS>	
		7 国際協力機構<JICA>	
		8 政府開発援助<ODA>	
		9 非政府機関<NGO>	

## II 予防と健康管理・増進 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考	
1 予防医学と健康保持増進 約 12%	A 地域社会と公衆衛生	1 コミュニティヘルス		
		2 健康増進の概念と機能		
	B 予防医学	1 予防医学の概念		
		2 一次予防、二次予防、三次予防		
	C 健康保持・増進	1 健康保持・増進の概念		
		2 健康教育・学習、保健指導、健康相談		
	D 健康診断・診査と健康管理	1 健康診断・診査と個別的事後指導		
		2 健康管理の概念・方法		
	2 人口統計と保健統計 約 8%	A 人口静態統計	1 日本の人口	
			2 国勢調査	
3 世界の人口				
B 人口動態統計		1 出生と死亡		
		2 結婚と離婚		
		3 死産		
		4 再生産率、合計特殊出生率		
		5 生命関数、平均余命		
C 疾病の定義と分類		1 国際疾病分類<ICD>		
D 疾病・障害統計		1 国民生活基礎調査		
		2 患者調査		
		3 身体障害児実態調査、身体障害者実態調査		
		4 国際生活機能分類<ICF>		
3 疫学とその応用 約 8%		A 疫学の概念	1 宿主、病因、環境	
			2 疾病の自然史	
			3 頻度と分布	
	4 リスク要因			
	5 疫学的因果関係			
	6 標本の抽出と偏り			
	7 臨床医学との関連			
	B 疫学指標	1 率と比		
		2 罹患率と有病率		
		3 年齢調整率		
		4 標準化死亡比<SMR>		
		5 相対危険度<relative risk>、寄与危険度<attributable risk>		
		6 リスク比<risk ratio>、オッズ比<odds ratio>		
	C 統計解析		標準偏差、標準誤差、有意差検定、推定、P 値、割り付け重視の分析<ITT、FAS>、プロトコール重視の分析<PC、PPS>、生存分析	
	D 観察研究	1 記述疫学		
		2 横断研究		
		3 症例対照研究		

大項目	中項目	小項目	備考
		4 コホート研究	
	E 介入研究	1 臨床試験	
		2 無作為比較対照試験<RCT>	
		3 プラセボ	
4 母子保健 約12%	A 現状と動向	1 出生	
		2 妊産婦死亡	
		3 死産	
		4 周産期死亡	
		5 新生児・乳児死亡	
		6 人工妊娠中絶	
	B 母性保健	1 家族計画と周産期の保健	
		2 母子健康手帳	
		3 妊産婦健康診査	
		4 産休制度、育児休業制度	
	C 小児の保健・福祉	1 乳児健康診査、1歳6か月 児健康診査、3歳児健康診査	
		2 育児指導	
		3 養育医療	
		4 自立支援医療	
		5 新生児マススクリーニン グ	
		6 小児期のスクリーニング	
	D 環境因子と胎児障害	1 飲酒・喫煙の影響	
		2 感染の影響	
		3 薬物の影響	
		4 放射線の影響	
		5 環境汚染物質の影響	
	E 人類遺伝	1 遺伝相談	
		2 先天異常	
5 成人保健 約4%	A 現状と動向	1 主な生活習慣病の罹患と 死亡	
		2 メタボリックシンドロ ームの概念	
	B 生活習慣病と保健対策	1 主な生活習慣病のリスク 要因	
		2 予防対策とその評価	
		3 特定健康診査、特定保健指 導	
6 高齢者保健 約4%	A 現状と動向	1 高齢者の死因	
		2 要介護の原因	
	B 高齢者の健康保持・増進	1 加齢と健康状態	
		2 日常生活動作<ADL>	
		3 QOL<quality of life>	
		4 閉じこもり、廃用症候群	
		5 介護予防	
7 精神保健福祉 約8%	A 現状と動向		
	B 精神的健康の保持・増進	1 精神保健福祉相談	学校精神保健、産 業精神保健
		2 地域精神保健福祉活動	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 精神障害者の保健・医療・福祉	1 精神保健福祉センター 2 精神障害者の医療 3 精神障害者社会復帰施設		
8 感染症対策 約16%	A 感染症の疫学と流行状況	1 主な感染症の疫学と流行状況		
		2 感染症発生动向調査<サーベイランス>		
		3 学校施設等における感染症		
		4 検疫		
		5 母子感染症		
	B 感染対策	1 予防接種<ワクチン>		
		2 感染経路別予防策		
	C 院内感染対策	1 院内感染微生物		
		2 標準予防策		
		3 院内サーベイランス		
		4 針刺し事故<刺切創>		
		5 消毒法		
		6 無菌・滅菌法		
		7 感染性廃棄物		
9 国民栄養と食品保健 約4%	A 国民栄養の現状と対策	1 食事調査		
		2 国民健康・栄養調査		
		3 食事摂取基準		
		4 食生活指針	食事バランスガイド	
		5 栄養教育・指導		
	B 食品の安全性と機能性	1 食品添加物		
		2 食品中の汚染物質		
		3 遺伝子組換え食品		
		4 牛海綿状脳症<BSE、狂牛病>		
		5 保健機能食品、特別用途食品、健康食品		
10 学校保健 約4%	A 学校保健の現状と動向	1 学齢期好発疾患と予防		
		2 体格、体力		
	B 学校医と保健管理	1 学校医の職務		
		2 養護教諭		
		3 健康診断		
		4 児童の慢性疾患と保健管理		
		5 学校伝染病		
		6 学校精神保健		
		7 児童の事故と対策<学校安全教育・安全管理>		
	11 産業保健 約8%	A 産業保健の仕組み	1 労働者の医療保険および年金制度	
			2 労働者の健康増進	
			3 労働災害補償	
		B 現状と動向	1 業務上疾病の発生状況	
2 作業関連疾患<work>				



大項目	中項目	小項目	備考
		related diseases>	
	C 産業医と労働安全衛生管理	1 管理体制	
		2 産業医の資格と職務	
		3 健康管理、作業環境管理、作業管理	
		4 許容濃度、管理濃度	
		5 生物学的モニタリング	
		6 労働災害	
		7 トータルヘルスプロモーションプラン<THP>	
		8 労働安全衛生マネジメントシステム	
		9 過重労働対策	
		10 メンタルヘルス対策	
		11 都道府県労働局、労働基準監督署、地域産業保健センター、都道府県産業保健推進センター	
11 環境保健 約 12%	A 環境と適応	1 環境の概念	
		2 生態系と生物濃縮	
		3 有害物質の吸収・排泄	
	B 地球環境の変化と健康影響	1 地球温暖化	
		2 オゾン層破壊	
		3 酸性雨	
		4 砂漠化	
	C 環境汚染の発生要因と健康影響	1 大気汚染とその指標	
		2 水質汚濁とその指標	
		3 土壌汚染	
		4 内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類	
		5 農薬、重金属類	
		6 石綿	
	D 上水道と下水道	1 水質基準	
		2 浄水法と消毒	
		3 水系感染症	
		4 汚染処理	
	E 公害の健康影響と対策	1 公害の概念	
		2 主な公害のエピソード	
		3 公害健康被害補償制度	
	F 環境汚染の評価と対策	1 環境基準、排出規制	
		2 環境モニタリング	
		3 環境影響評価<アセスメント>	
	G 廃棄物処理	1 一般廃棄物	
		2 産業廃棄物	
		3 感染性廃棄物	
		4 リサイクル	
	H 騒音・振動の健康影響と対策	1 騒音の聴器・聴覚への影響、騒音性難聴	
		2 騒音の生理的・心理的影響	
		3 全身振動	
		4 局所振動	
		5 低周波空気振動	

大項目	中項目	小項目	備考
	I 放射線の健康影響と管理	6 評価と対策	
		1 非電離放射線の健康影響	
		2 電離放射線の健康影響	
		3 放射線管理	
		4 放射性廃棄物	
		J 居住・衣服環境と健康	1 屋内環境の管理<換気、採光、照明、冷暖房>
		2 シックビル症候群、シックハウス症候群	
		3 建築物衛生	
		4 鼠族・昆虫の害と防除	
		5 衣服の機能と健康	
		6 化学物質過敏症	

### Ⅲ 人体の正常構造と機能 [約 10%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 個体の構造 約 10%	A 細胞、組織		
	B 局所解剖		
2 皮膚、頭頸部、 感覚器、発声器 約 10%	A 皮膚の構造・機能	1 表皮、真皮、付属器、脈管、 神経、皮下組織	
		2 角化、メラニン生成、免疫 機能、Langerhans 細胞、細 胞間接着、基底膜	
		3 細胞間脂質	
		4 結合組織の代謝	
		5 発汗	
		6 皮脂	
		7 毛周期	
		8 経皮吸収	
	B 頭蓋・頭蓋腔の構造		
	C 顔面の構造	1 眼窩、(眼)瞼裂、外鼻孔、 鼻根、人中、口唇、口角	
	D 頸部の構造	1 頸筋膜、頸筋群、頸動脈、 頸静脈、迷走神経、反回神 経、副神経、舌下神経、舌 神経、腕神経叢、横隔神経、 交感神経幹、星状神経節	
	E 頭頸部の生理的間隙	1 咽後間隙、副咽頭間隙	
	F 視覚系の構造・機能	1 眼球[角膜、強膜、ぶどう 膜<虹彩、毛様体、脈絡膜>、 網膜、硝子体、水晶体、眼 房、隅角]と眼球付属器<眼 瞼、涙器、結膜、外眼筋、 眼窩>	
		2 視神経、視(神経)交叉、視 索、外側膝状体、視放線	
		3 視機能[視力、視野、色覚、 光覚<暗順応>、屈折、調節、 両眼視、輻湊、開散、眼位、 眼球運動、開瞼、閉瞼、瞳 孔、眼圧]	
	G 聴覚系の構造・機能	1 聴器[外耳<耳介、外耳道、 鼓膜>、中耳<耳小骨、蝸牛 窓、前庭窓、乳突洞>、内 耳<蝸牛、ラセン器、有毛 細胞>]	
		2 聴覚生理、聴力<伝音機構、 感音機構、聴覚の電気現 象>	
	H 前庭平衡系の構造・機能	1 末梢前庭器官<球形嚢、卵 形嚢、三半規管>	
		2 前庭反射	
	I 嗅覚系・味覚系の構造・機 能	1 嗅覚	
2 味覚			
J 発声器の構造・機能	1 声帯、内喉頭筋、粘膜波動、 上喉頭神経、反回神経<下 喉頭神経>		
K 体性感覚系の構造・機能	1 痛覚		
	2 温度覚		

大項目	中項目	小項目	備考
		3 触覚	
		4 深部感覚	
3 呼吸器、胸郭、 胸壁 約10%	A 胸郭の構造・機能	1 胸膜、胸壁、横隔膜	
		2 乳房<乳腺、Montgomery腺>	
		3 縦隔	
		4 胸腺	
	B 上気道・下気道の構造・機能	1 鼻、鼻腔、副鼻腔、喉頭、声帯、気管、気管支	Kiesselbach 部位
		2 吸気の加温・加湿	
		3 保護・防御機能	
		4 呼吸機能	
	C 肺の構造・機能	1 肺泡と肺血管系	
		2 肺表面活性物質	
		3 換気、死腔	
		4 肺気量分画	
		5 換気力学<胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、closing volume>	
		6 肺泡気	
		7 換気・血流比	
		8 拡散	
		9 肺泡気-動脈血酸素分圧較差<A-aDO <sub>2</sub> >、換気分布	
		10 呼吸の調節<換気量>	
		11 血液中のガス運搬	
		12 酸・塩基平衡	
		13 代謝	
		14 防御機能、末梢気道病変、肺のリンパ管とリンパ節	
	D 呼吸運動	1 呼吸調節、末梢受容体、呼吸中枢、無呼吸反射	
2 呼吸筋			
4 心臓、脈管 約10%	A 心臓・血管の構造・機能	1 心臓、大血管、冠血管、末梢血管	
		2 心臓の興奮と伝導	
		3 心周期と時相	
		4 心機能、心筋収縮性と拡張性	
		5 心拍出量	
		6 血圧	
		7 循環血液量	
		8 体循環	冠循環
		9 肺循環	
		10 循環動態の調節	
		11 容量血管と抵抗血管	
		12 末梢血管抵抗	
		13 静脈還流	
	B リンパ管の構造と機能	1 リンパ管とリンパ節との関係	
		2 胸管との関係	

大項目	中項目	小項目	備考
5 消化器、腹壁、腹膜 約10%	A 口腔・咽頭の構造・機能	1 歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳管、上・中・下咽頭	
		2 咬合、咀嚼、消化、食塊形成、唾液	
		3 嚥下	
	B 消化管の構造・機能	1 消化管壁の構造	
		2 脈管系	門脈系
		3 神経系	
		4 消化管の運動	食道内圧
		5 消化管の消化・吸収	
		6 胃液・十二指腸液の分泌	
		7 消化管生理活性物質	消化管生理活性物質<消化管ホルモン、増殖因子なども含む>
		8 消化管の免疫	
		9 排便機能	直腸肛門反射
	C 肝・胆道・膵の構造・機能	1 肝、胆道、膵の構造	
		2 肝臓を構成する細胞	
		3 肝臓の機能	
		4 胆汁および胆汁分泌	
		5 腸肝循環	
		6 膵外分泌・内分泌	
	D 腹壁・腹膜の構造・機能	1 腹壁の筋肉・筋膜	
		2 神経系	
3 腹腔内臓器、腹膜			
6 血液、造血器 約10%	A 血液・造血器の構造・機能	1 骨髄、リンパ組織、脾	
		2 血球の産生・崩壊とその調節	
		3 赤血球の形態・機能	
		4 白血球の形態・機能	
		5 髄外造血	
		6 鉄・造血ビタミンの代謝	
		7 止血機能と血管壁、血小板、凝固・線溶系	
		8 血漿とその成分	
7 腎、泌尿器、生殖器 約10%	A 腎の構造・機能	1 腎<糸球体、尿細管、間質、血管系>	
		2 体液量と組成	
		3 尿の生成	
		4 水・電解質の代謝<ホメオスタシス>	
		5 酸・塩基平衡	
		6 腎の内分泌機能	
	B 尿路の構造・機能	1 腎杯、腎盂、尿管、膀胱、尿道	
		2 蓄尿、排尿	
	C 男性生殖器の構造・機能	1 精巣、精巣上体、精管、精囊、前立腺、陰茎の構造	
		2 造精機能	
		3 勃起	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 女性生殖器の構造・機能	4 射精	
		5 脈管系	
		6 神経系	
		7 視床下部・下垂体・精巣系	
		1 外陰、会陰、膣、子宮、子宮支持組織、卵巣、卵管、骨盤骨、骨盤底、Douglas窩、Bartholin腺、Skene腺	
		2 脈管系	
		3 神経系	
		4 視床下部・下垂体・卵巣系	
		5 性周期<排卵、子宮内膜の周期性変化、月経、性器外周期、基礎体温>	
		8 心理、精神、神経、運動器 約10%	A 心理・精神機能
		2 知覚	
		3 記憶	
		4 見当識	
		5 知能	
		6 思考	
		7 感情、気分	
		8 意欲と行動	
		9 自我	
		10 気質、性格、パーソナリティ	
	B 精神機能と身体	1 睡眠[レム<REM>睡眠、ノンレム睡眠]	
		2 日内<概日>リズム<サーカディアンリズム>	
		3 脳内神経伝達物質	
	C 中枢神経・末梢神経の構造・機能	1 頭蓋と脳・脊柱・脊椎・脊髄・神経根の構造	
		2 大脳皮質と機能局在<高次脳機能>	
		3 大脳基底核とその連絡路	
		4 視床	
		5 視床下部、下垂体	
		6 海馬、扁桃体、辺縁系	
		7 脳幹	
		8 小脳とその連絡路	
		9 脳神経	
		10 嗅覚路	
		11 視覚路	
		12 聴覚・前庭路	
		13 脊髄と主な伝導路	
		14 末梢神経	
		15 自律神経系	
		16 運動系伝導路	
		17 感覚系伝導路	デルマトーム
		18 反射	求心路、中枢、遠心路

大項目	中項目	小項目	備考
	D 脳室、脳槽、髄膜の構造・機能	1 髄液の分泌・循環・吸収	
	E 脳・脊髄血管系とその支配領域	1 頸動脈領域	
		2 椎骨・脳底動脈領域	
		3 Willis 動脈輪	
		4 脳静脈系<静脈洞>	
		5 脊髄動脈系	
	F 運動器の構造・機能	1 骨	
		2 軟骨<関節軟骨、成長軟骨>	
		3 関節、靭帯	
		4 骨格筋、腱	
		5 骨格<頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、四肢>	
		6 神経支配	
		7 運動生理	
9 内分泌、代謝、栄養 約 10%	A 内分泌器官の構造・機能	1 内分泌器官[視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺<上皮小体>、副腎皮質・髄質、膵島、腎、性腺]	
		2 ホルモンの種類	
		3 ホルモンの合成・分泌とその調節	
		4 ホルモンの作用機序	
		5 内分泌と免疫・神経	
	B 代謝と栄養	1 内分泌と代謝	
		2 代謝経路	
		3 代謝調節	
		4 食事摂取基準<栄養所要量>	
		5 栄養素の役割とバランス	
10 免疫 約 10%	A 免疫系の構成・機能	1 免疫系臓器<骨髄、胸腺、リンパ節、脾、扁桃、粘膜免疫組織>	
		2 リンパ球[T細胞[ヘルパーT細胞<Th1、Th2>]、細胞傷害性T細胞<CTL>]、B細胞、形質細胞、NK細胞]	
		3 自然免疫<好中球、好酸球、単球>	
		4 抗原提示細胞<マクロファージ、樹状細胞>	
		5 免疫グロブリン	
		6 補体	
		7 サイトカイン、ケモカイン	
		8 免疫応答とその調節	
		9 組織適合(性)抗原<HLA>	
		10 自己免疫	
		11 免疫寛容	

## IV 生殖、発生、成長・発達、加齢 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考	
1 妊娠 約 15%	A 妊娠の成立・維持	1 受精		
		2 受精卵の分割と輸送		
		3 着床		
		4 妊娠維持の機構		
		5 妊娠持続期間		
	B 胎児付属物	1 胎盤		
		2 卵膜		
		3 臍帯		
		4 羊水		
	C 胎児・胎盤系	1 胎児・胎盤循環<動脈管、 静脈管>		
		2 内分泌		
		3 ガス・物質交換と代謝		
	D 妊娠による母体変化<妊娠 徴候>	1 性器の変化		
		2 全身の変化<性器外変化>		
	E 妊婦の栄養			
	2 分娩 約 15%	A 分娩の 3 要素 <産道、胎児、娩出力>	1 骨産道	
			2 軟産道	
3 児頭				
4 胎向、胎位、胎勢				
5 陣痛				
6 腹圧				
B 分娩の経過		1 前徴		
		2 開始		
		3 分娩時期[第 1 期<開口 期>、第 2 期<娩出期>、第 3 期<後産期>]		
		4 破水		
		5 児頭の浮動・下降・進入・ 固定・嵌入		
		6 回旋<第 1～4 回旋>		
		7 児の娩出<排臨、発露、応 形機能、骨重積>		
		8 胎盤の娩出		
3 産褥 約 10%		A 産褥の経過	1 後陣痛	
			2 子宮復古	
			3 悪露	
	4 産褥無月経、授乳性無月経			
	5 全身の復古			
	B 乳汁分泌	1 乳汁分泌の機序		
		2 初乳		
		3 成熟乳		
		4 母乳栄養の確立		
4 胎児 約 10%	A 胎児の発育	1 妊卵<胚>、胎芽、胎児		
		2 器官形成期		
		3 成長の評価		
		4 妊娠期間、胎児の形態		
	B 器官形成と臓器の成熟	1 皮膚		
		2 感覚器		
		3 呼吸器		



大項目	中項目	小項目	備考
		4 心臓、脈管	
		5 消化器	
		6 血液、造血器	
		7 腎、泌尿器、生殖器<Wolff管、Müller管>	
		8 神経、運動器	
		9 内分泌、代謝	
		10 免疫	
5 新生児、乳児期 約15%	A 成熟徴候	1 在胎週数	
		2 出生時の身長・体重	
		3 身体的特徴	
		4 頭囲、胸囲	
		5 大泉門	
	B 新生児の生理	1 呼吸	
		2 循環	臍帯脱落
		3 体温	
		4 腎臓・体液	
		5 肝臓・ビリルビン代謝	生理的黄疸
		6 消化	胎便、移行便、生理的体重減少
		7 血液・免疫	IgG、IgA、IgM
6 小児期 約15%	A 小児の成長	1 発育区分	
		2 身体発育	成長速度曲線、身長・体重・頭囲・胸囲、プロポーシヨン
		3 生歯	
		4 骨年齢	
		5 成長の評価	成長曲線、成長速度曲線、発育指数<Kaup指数、Rohrer指数、肥満度>
	B 小児の発達	1 反射<原始反射と姿勢反射>	Moro反射、背反射、緊張(強直)性頸反射、交叉伸展反射、探索反射、吸啜反射、把握反射、Babinski反射、立ち直り反射、Landau反射、パラシュート反射
		2 運動	
		3 精神	
		4 言語発達	
		5 生活習慣	
		6 社会性	
		7 視力・聴力	
		8 評価<スクリーニング法、発達指数、知能指数>	遠城寺式、津守・稲毛式、日本版Denver式、Wechsler系、田中

大項目	中項目	小項目	備考
			・Binet 式
	C 小児栄養	1 栄養所要量 2 母乳栄養 3 人工栄養 4 離乳 5 幼児・学童の栄養 6 栄養状態の評価 7 過剰と欠乏	
7 思春期、青年期 約 10%	A 身体の成長・発達	1 発育急伸<growth spurt> 2 二次性徴 3 思春期の発来機序	
	B 精神発達	1 発達区分 2 発達理論 3 思春期危機 4 自我<自己>同一性形成<性役割、職業役割> 5 学習と社会経験	
8 加齢、老化 約 10%	A 細胞・組織の加齢現象	1 細胞数の減少と萎縮、退縮 2 アポトーシス 3 機能低下	
	B 加齢による臓器・機能の変化、疾患の特徴	1 皮膚 2 感覚器 3 呼吸器 4 消化器 5 心臓、脈管 6 腎、泌尿器、生殖器 7 中枢神経、末梢神経 8 運動器 9 血液、造血 10 内分泌、代謝 11 免疫	骨、軟骨、関節、 靭帯、筋、腱
	C 高齢者の生理的特徴	1 予備力 2 適応能力 3 抵抗力	
	D 高齢者の心理的特徴	1 認知機能 2 感情・意欲・性格の変化 3 行動の変化	
	E 高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	1 非定型的症状 2 多臓器疾患	
	F 寿命	1 ライフサイクル	

## V 病因、病態生理 [約 13%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 疾病と影響因子 約 8%	A 疾病の自然経過	1 発生病理		
		2 病期<前臨床期、臨床期>		
		3 病型		
	B 内因と外因	1 疾患関連遺伝子		
		2 遺伝子異常と環境因子		
	C 生活・職業・社会環境と疾病	1 生活習慣<ライフスタイル>	メタボリックシンドローム	
		2 環境因子		
		3 労働適応		
		4 妊娠・出産・育児と労働		
		5 技術革新と健康障害		
	D ストレス	1 心理社会的要因		
		2 自律神経・内分泌機能の変化		
		3 感情と行動の変化		
		4 ストレス関連疾患の誘発と症状増悪		
		5 災害、移民		
	2 先天異常 約 8%	A 原因と分類	1 単一遺伝子病	
2 染色体異常				
3 多因子遺伝				
4 細胞質遺伝<ミトコンドリア遺伝病>				
5 環境因子による奇形				
B 遺伝形式		1 Mendel 遺伝様式		
		2 非 Mendel 遺伝様式		
C 染色体異常の種類		1 染色体異常の原因		
		2 数的異常<trisomy、monosomy>		
		3 構造異常<欠失、転座、iso染色体>		
		4 mosaic		
		5 隣接遺伝子症候群		
D 遺伝カウンセリングと出生前診断				
3 損傷、炎症 約 8%		A 創傷の種類	1 開放性・非開放性損傷	
			2 鋭的外力による損傷	
			3 鈍的外力による損傷	
			4 銃器による損傷	
		B 創傷の治癒過程	1 一次治癒、二次治癒	
			2 肉芽組織、癒痕組織、肥厚性癒痕、ケロイド	
		C 創傷治癒に影響する因子		
	D 外傷の病態			
	E 化学的損傷			
	F 物理的損傷	1 熱傷		
		2 凍傷		

大項目	中項目	小項目	備考	
		3 電撃傷		
		4 光線損傷		
		5 放射線損傷		
		6 褥瘡		
		G 炎症の局所的変化	1 組織反応	
		2 症候		
	H 炎症の全身的变化	1 血液の変化		
		2 代謝性反応		
		3 全身性炎症(性)反応症候群<SIRS>		
	I 急性炎症と慢性炎症			
4 感染 約8%	A 感染の概念	1 病原微生物		
		2 感染防御機構		
		3 感染と発症		
		4 感染様式		
		5 感染経路		
		6 感染と免疫・アレルギー		
		7 敗血症		
	B 宿主側の要因	1 易感染性宿主 <compromised host>		
		2 日和見感染症 <opportunistic infection>		
		3 保菌者<キャリア>		
		4 二次感染、複数菌感染		
		5 菌交代現象、菌交代症		
	C 垂直感染	1 子宮内感染、産道感染		
		2 母子感染	TORCH 症候群	
	D 新興・再興感染症		重症急性呼吸器症候群<SARS>、高病原性鳥インフルエンザ、ウエストナイル熱・脳炎、エボラ出血熱、クリプトスポリジウム症、クリミア・コンゴ出血熱、後天性免疫不全症候群<AIDS>、腸管出血性大腸菌感染症、ニバウイルス感染症、日本紅斑熱、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌<VRSA>感染症、マールブルグ熱、ラッサ熱、結核、マラリア	

大項目	中項目	小項目	備考
	E 輸入感染症<旅行者感染症>		狂犬病、ウエストナイルウイルス感染症、ハンタウイルス肺症候群、重症急性呼吸器症候群<SARS>、アメーバ赤痢、マラリア、輸入真菌症
	F 院内<病院>感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>、バンコマイシン耐性腸球菌<VRE>、多剤耐性緑膿菌<MDRP>、結核、インフルエンザウイルス、水痘、麻疹、疥癬、ノロウイルス、ロタウイルス、クロストリジウムディフィシル<CD>、レジオネラ(感染)症
	G 市中感染症		
	H 性感染症<STD、STI>		エイズ、梅毒、淋疾、クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒトパピローマウイルス
	I 人畜<人獣>共通感染症		ライム病、レプトスピラ症、鼻疽・類鼻疽、猫ひっかき病、トキソプラズマ症、リーシュマニア感染症、ブルセラ症
	J バイオテロに関連する伝染性疾患		天然痘、炭疽、ペスト、ボツリヌス症、野兔病、ウイルス出血熱
5 アレルギー、免疫異常 約8%	A 免疫不全		
	B 自己免疫		
	C アレルギー反応	1 Coombs 分類	
6 腫瘍 約8%	A 腫瘍の疫学	1 罹患<発生>率	
		2 生存率	
		3 死亡率	
	B 腫瘍の病因	1 発癌因子	
		2 癌と遺伝子異常	
		3 癌遺伝子、癌抑制遺伝子	
C 悪性腫瘍と免疫		後天性免疫不全症候群<AIDS>	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 腫瘍の病態・病理	1 腫瘍の自然史	
		2 良性、境界悪性、悪性	
		3 上皮性、非上皮性、上皮非上皮混合性	
		4 前癌病変、異形成	
		5 潜在癌、偶発癌、上皮内癌、表在癌	
		6 早期癌、進行癌、転移癌、重複癌	
		7 浸潤	
		8 リンパ行性転移、血行性転移、遠隔転移	
		9 播種	
		10 悪液質	
		11 TNM・臨床病期分類	
		12 再発	
7 循環障害、臓器不全 約8%	A 血行障害	1 阻血、虚血	
		2 充血	
		3 うっ血	
		4 出血	
	B 梗塞	1 血栓	
		2 塞栓	
	C リンパ流障害	1 水腫	
		2 リンパ漏	
	D ショック	1 原因	
		2 機序	
		3 病態	
	E 血圧異常	1 高血圧	
		2 低血圧	
		3 起立性低血圧、起立性調節障害	
	F 臓器不全	1 臓器不全	
		2 多臓器不全(MOF)、多臓器機能障害(MODF)	
	8 内分泌・代謝・栄養の異常 約8%	A ホルモンの欠乏と過剰	1 欠乏と過剰
2 ホルモン不応症			
B エネルギー及び三大栄養素の欠乏と過剰		1 低栄養	
		2 エネルギーの過剰摂取と肥満	
C 無機質<ミネラル>・必須<微量>元素・必須微量栄養素の欠乏と過剰			
9 中毒、放射線障害 約8%	A 中毒の発生源		
	B 中毒の病態生理	1 化学物質の吸収・代謝・排泄	
		2 中毒量、致死量、LD <sub>50</sub>	
		3 急性中毒、慢性中毒	
		4 発癌性	
		5 生殖毒性	
		6 依存	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 放射線の身体的影響	1 早期障害<急性反応>		
		2 晩期障害<遅発性・晩期反応>		
		3 放射線誘発癌		
	D 放射線の胎内被曝の影響	1 妊娠時期と放射線感受性		
	E 放射線の遺伝的影響	1 生殖腺線量		
		2 遺伝有意線量		
	F 放射線の確率的・確定的影響	1 閾<しきい>線量		
		2 リスク係数		
	10 医原病 約8%	A 診断に伴う医原病	1 医師の対応による医原病	
			2 診断操作による医原病	
	B 治療に伴う医原病			
11 死 約20%	A 死の概念と定義	1 死の判定		
		2 心臓死		
		3 脳死、脳死判定基準		
		4 植物状態		
		5 尊厳死、リビングウィル		
		6 安楽死		
	B 突然死	1 乳幼児突然死症候群<SIDS>		
		2 心臓突然死		
	C 院内死亡	1 院内死亡と病理解剖		
		2 病理解剖の目的		
	D 異状死	1 異状死の判断		
		2 異状死体届出の義務		
		3 死体検案		
		4 監察医制度		
		5 司法解剖、行政解剖、承諾解剖		
	E 死後変化	1 早期死体現象		
		2 晩期死体現象		
		3 死後経過時間の推定		

VI 症候 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 全身症候 約 16%	A 発熱		
	B 全身倦怠感		
	C 体重減少・増加		
	D 低身長、高身長		
	E やせ、肥満		肥満指数<BMI>
	F ショック		
	G 意識障害、せん妄		
	H 不穏、精神運動興奮		
	I うつ状態		
	J けいれん		
	K めまい		
	L 脱水		皮膚の緊張度<ツルゴール>
	M 脱力感		
	N 浮腫		
2 皮膚、外表 約 8%	A 皮疹	1 紅斑	
		2 紫斑、出血斑	
		3 色素異常	
		4 丘疹	
		5 結節	
		6 腫瘍	
		7 水疱	
		8 膿疱	
		9 囊腫	
		10 膨疹・蕁麻疹	
		11 びらん	
		12 潰瘍	
		13 毛細血管拡張 <telangiectasia>	
		14 硬化、萎縮	
		15 鱗屑、痂皮、落屑	
		16 壊疽	
	B 粘膜疹		アフタ
	C 爪・毛髪異常		
	D 瘙痒		
	E 皮膚分泌異常	1 発汗	
		2 皮脂	
	F デルマドローム		
G 黄疸			
H 手掌紅斑			
I 脈管異常	1 血管・リンパ管奇形と腫瘍	<も状血管腫 <vascular spider>	
J 母斑			
K 小奇形			
L リンパ節腫脹		Virchow 結節	
M 褥瘡			
N 角化異常			
O 光線過敏			
P 疼痛			
3 頭頸部、感覚器 約 12%	A 顔貌の異常		
	B 甲状腺腫		
	C 視力障害		



大項目	中項目	小項目	備考
	D 視野異常	1 視野狭窄	
		2 半盲	
		3 暗点	
	E 色覚異常		
	F 夜盲、昼盲		
	G 眼精疲労		
	H 眼痛		
	I 複視		
	J 飛蚊症、光視症		
	K 変視症		
	L 眼の充血		
	M 流涙		
	N 眼脂		
	O 羞明		
	P 房水セル、房水フレア		
	Q 角膜混濁		
	R 水晶体混濁		
	S 白色瞳孔		
	T 眼球突出		
	U 眼球陥凹		
	V 眼瞼下垂		
	W (眼) 瞼裂狭小		
	X 眼位異常<斜視>		
	Y 異常眼球運動	1 眼振	
	Z 眼底出血		
	AA 聴力障害<難聴>	1 伝音難聴	
		2 感音難聴	
		3 混合性難聴	
	AB 耳鳴り		
	AC 耳痛		
AD 耳漏			
AE 耳閉塞感			
AF 嗅覚障害			
AG 味覚障害			
AH 唾液分泌障害			
AI 頸部のしこり			
AJ 歯痛			
4 呼吸器、心臓、 血管 約 12%	A 鼻閉塞		
	B 鼻漏		
	C くしゃみ		
	D 鼻出血		Bellocq タンボン
	E いびき		
	F 咽頭痛		
	G 咳		
	H 痰		
	I 血痰、喀血		
	J 嘔声		
	K 喘鳴		
	L 失神		Adams-Stokes 症候群
	M 傾眠		
	N チアノーゼ		
	O 呼吸リズムの異常	1 Kussmaul 呼吸	

大項目	中項目	小項目	備考
	P 呼吸音の異常	2 Cheyne-Stokes 呼吸	
		3 Biot 呼吸	
		4 呼気延長	
		1 coarse crackles	
		2 fine crackles	
		3 wheezes	
		4 rhonchi<いびき様音>	
		5 呼吸音減弱、呼吸音消失	
	6 気管支呼吸音		
	7 胸膜摩擦音		
	8 声音振盪		
	Q 胸痛、胸内苦悶		
	R 呼吸困難、息切れ		
	S 呼吸停止		
	T 胸水		
	U ばち指		
	V 異常心音	1 III音	
		2 IV音	
		3 opening snap	
		4 収縮中期クリック	
		5 奔馬調律	
	W 心雑音	1 無害性雑音	
		2 駆出性収縮期雑音	
		3 汎<全>収縮期雑音	
		4 拡張期輪転様雑音	
		5 拡張期灌水様雑音	
		6 連続性雑音	
		7 心膜摩擦音	
	X 不整脈		上室性・心室性不整脈
	Y 脈拍異常	1 速脈・遅脈、大脈・小脈、奇脈	
Z 心停止			
AA 血管性雑音			
AB 血圧異常	1 高血圧		
	2 低血圧		
AC 間欠性跛行			
AD 低酸素<O <sub>2</sub> >血症			
AE 高二酸化炭素<CO <sub>2</sub> >血症			
AF 低二酸化炭素<CO <sub>2</sub> >血症			
5 消化器 約8%	A 食欲異常	1 食欲不振	
		2 過食	
	B 口および口腔内の異常	1 舌の異常	運動異常、味覚異常、疼痛、舌苔、イチゴ舌、巨大舌、潰瘍、硬結
		2 口腔粘膜異常	アフタ
		3 唾液分泌異常	
		4 歯、歯肉の異常	う歯
		5 口臭	肝性口臭
		6 開口障害、咀嚼障害	
	C 嚥下障害	1 嚥下痛	
		2 通過障害	

大項目	中項目	小項目	備考	
		3 誤嚥		
	D	しゃっくり		
	E	胸やけ、おくびくげっぶ		
	F	悪心、嘔吐		
	G	腹痛	1 内臓痛	
			2 体性痛	
			3 関連痛	
			4 筋性防御	
			5 反跳痛<Blumberg 徴候>	
			6 腹壁痛	
	L	吐血		
	M	血便<下血>、粘血便	1 鮮血便	
			2 黒色便	
	N	下痢		
	O	便秘		
	P	(灰)白色便		
	Q	黄疸		
	R	腹壁血管怒張		
S	腹部膨隆、腹部膨満			
			鼓腸、腹水	
T	肝腫大、脾腫			
U	腹部腫瘤			
6 血液、造血器、 免疫 約12%	A	貧血		
	B	赤血球増加		
	C	白血球増加		
				類白血病反応
	D	白血球減少		
	E	好酸球増加		
	F	好塩基球増加		
	G	血小板増加		
	H	血小板減少		
	I	出血傾向		
	J	血栓傾向		
	K	過粘稠度 <hyperviscosity>症候群		
	L	易感染性		
	M	免疫グロブリン異常		
	N	リンパ節腫脹		
7 腎、泌尿器、 生殖器 約8%	A	乏尿、無尿		
	B	多尿、夜間多尿		
	C	排尿障害	1 排尿痛	
			2 頻尿	
			3 排尿困難	
			4 尿閉、残尿	
			5 尿意切迫感、尿失禁	
			6 遺尿、夜尿	
			7 尿線の異常	
			8 二段排尿	
9 尿瘻				
D	尿性状の異常	1 蛋白尿、糖尿、ビリルビン尿		
		2 血尿		

大項目	中項目	小項目	備考
		3 膿尿	無菌性膿尿
		4 血色素<ヘモグロビン>尿	
		5 ミオグロビン尿	
		6 色素尿	
		7 乳び尿	
	E 精液の性状	1 血精液症	
	F 外生殖器<外陰部>異常		
	G 女性性器・膀胱下垂・脱出		
	H 帯下		
	I 月経痛、中間痛<排卵痛>		
	J 月経異常		
	K 性器出血		
	L 不妊、不育		
	M 性成熟の異常		
	N 射精障害		
	O 勃起不全		
	P 妊娠時の異常		出血、悪阻、下腹痛
8 心理、精神機能 約8%	A 知能障害	1 認知症	
		2 偽認知症	
	B 記憶障害	1 Korsakoff 症候群	
		2 健忘	
	C 精神発達障害	1 知的障害	
		2 言語発達遅滞	
	D 失見当(識)		
	E 感覚障害	1 錯覚	
		2 幻覚	
	F 思考障害	1 思路障害	
		2 妄想	
		3 強迫	
	G 感情障害	1 不安	パニック発作
		2 抑うつ	
		3 恐怖	
		4 躁状態	
		5 両価性	
	H 自我障害	1 離人(症)	転換、解離
		2 させられ<作為>体験	
	I 意欲と行動の障害	1 食欲異常	
2 性欲異常			
3 精神運動興奮			
4 緊張病症候群			
5 注意欠陥・多動			
6 無為・自閉			
J 睡眠障害		不眠、過眠、日中傾眠	
K 不定愁訴		心気	
L 病識欠如			
M 疎通性障害			
N 高次脳機能障害	1 失語	Broca 失語、 Wernicke 失語、 Gerstmann 症候群	
	2 失行		
	3 失認		
	4 注意障害		
	5 遂行機能障害		

大項目	中項目	小項目	備考
	O 脳局所症状、神経心理学的症状		
	P 植物状態		
	Q 失外套症候群、無動無言症、閉じ込め症候群 <locked-in syndrome>		
	R 脳器質精神症候群		
	S 意識障害		意識混濁、もうろう状態、せん妄
9 神経、運動器 約8%	A 頭痛、頭重感		
	B 瞳孔異常	1 Horner 症候群	
		2 Adie 症候群	
		3 Argyll Robertson 瞳孔	
	C 脳神経障害		Bell 麻痺
	D 言語障害	1 構音障害	
		2 言語発達遅滞	
		3 失語	
	E 髄膜刺激症状		Kernig 徴候、Brudzinski 徴候
	F 頭囲の異常	1 大頭	
		2 小頭	
		3 狭頭	
	G 筋萎縮		
	H 筋緊張異常		
	I 反射異常		Babinski 徴候、Chaddock 反射
	J 運動麻痺		
	K 筋力低下		
	L 不随意運動		振戦、ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、アステレキシス
	M 運動失調		
	N 感覚障害	1 感覚鈍麻	
		2 異常感覚	
		3 疼痛	
	O 起立・歩行障害		
	P 平衡障害		
	Q 自律神経障害		
	R 頭蓋内圧亢進		
	S 錐体路症候		
	T 錐体外路症候		
	U 脊髄障害		横断性脊髄症、Brown-Séquard 症候群
	V 末梢神経障害		
W 異常姿勢		側弯、後弯、前弯	
X 脊椎運動制限			
Y 筋肉痛、腰背部痛			
Z 関節痛、関節腫脹			
AA 関節拘縮・強直、関節動揺性、関節不安定性			
AB 肩凝り			

大項目	中項目	小項目	備考
10 内分泌、代謝、 栄養 約8%	A	肥満、やせ	
	B	末端肥大高身長	
	C	低身長	
	D	性発達の異常	
	E	無月経、男性化徴候	
	F	女性化乳房	
	G	糖尿、高・低血糖	
	H	脂質異常症<高脂血症>	
	I	高・低蛋白血症	
	J	高尿酸血症	
	K	水・電解質の異常	
	L	酸・塩基平衡の異常	

## VII 診察 [約8%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 2次・3次救急患者の診察 約27%	A 初診時の診断診療	1 バイタルサイン	
		2 意識障害の評価	JCS<Ⅲ-3-9度方式>、GCS<Glasgow coma scale>
		3 来院時心肺(機能)停止	心肺蘇生法<ACLS>
		4 臓器障害の状態把握	
		5 運動機能障害の判定	
		6 緊急治療の要否・部位別優先順位の判断	
	B 病態に応じた診察	1 重症度と緊急度の評価	
		2 血液ガス分析<ガス交換障害・酸塩基平衡異常の評価>	
		3 ショック<急性循環不全>の鑑別	
		4 意識障害の鑑別	
		5 脳血管障害	
		6 急性呼吸不全	
		7 急性心不全	
		8 急性冠症候群	
		9 急性腹症	
		10 急性消化管出血	
		11 肝不全	
		12 腎・泌尿器疾患<急性腎不全、尿毒症>	
		13 内分泌・代謝疾患<糖尿病性昏睡、肝性昏睡、甲状腺クリーゼ、副甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼ>	
		14 精神救急疾患	自傷他害、精神運動興奮
15 重症感染症			
16 外傷の判断			
17 急性中毒			
18 熱傷			
19 NBC<nuclear, biological and chemical>テロ			
20 急性放射線障害			
2 高齢者の診察と評価 約27%	A 高齢者の診察	1 一般的診察	
		2 診察時の注意	
	B 高齢者の評価	1 認知症の診断と重症度判定	
		2 日常生活動作<ADL>能力の評価	
		3 介護の必要度の判定	
		4 排尿障害の有無の評価	
5 運動器障害の評価			
6 嚥下障害の評価			
3 小児の診察 約20%	A 乳幼児の診察	1 一般的診察	
		2 成長・発達の評価	
		3 育児環境の評価	

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 学童期の診察	4 乳幼児の救急時の状態把握		
		1 一般的診察		
		2 成長・発達の評価		
		3 生活環境の評価		
	C 思春期の診察	4 心理的評価		
		1 一般的診察		
		2 二次性徴の評価		
	4 胎児・新生児の診察と評価 約 13%	A 胎児の診察	3 生活環境の評価	
			4 心理的評価	
			1 胎児の位置の診断	
2 胎動				
3 胎児心拍数の測定				
B 胎児付属物の診察		4 発育・成熟の診断[頭殿長<CRL>、大横径<BPD>、大腿骨長<FL>、推定胎児体重<EFBW>]		
		5 出生前診断		
		1 胎盤、臍帯、羊水の診断	羊水指数<AFI>、羊水ポケット、臍帯血 pH	
		C 新生児の診察	1 一般的診察、Apgar スコア	
			2 神経学的診察	原始反射、姿勢反射、フロッピーインファント
			3 診察時の注意	
			4 外表奇形	
		5 妊・産・褥婦と胎児の診察 約 13%	A 妊婦の診察	1 妊娠の診断
2 妊娠時期の診断				
3 妊婦健康診査				
4 胎位・胎向の診断<Leopold 診察法>				
5 頸管成熟度	Bishop スコア			
B 産婦の診察	1 分娩時期の診断			
	2 胎児下降度の診断・表現法			
	3 児頭回旋の診断・表現法			
	4 頸管開大度			
	5 陣痛の観察		Cardiotocogram<CTG>	
	6 パルトグラム			
	7 胎盤剝離徴候			
C 褥婦の診察	1 性器の復古			
	2 全身の復古			
	3 乳汁分泌			



## VIII 検査 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 検体検査 約 25%	A 検体の採取と保存	1 採血<種類、部位>	静脈血、動脈血
		2 採尿	
		3 喀痰	
		4 穿刺<胸水、腹水、脳脊髄液、骨髄、Douglas 窩、関節液、嚢胞貯留液、膿、羊水>	
		5 生検、細胞診	
		6 新生児・乳幼児の採血と穿刺法	
		7 法医学的試料の採取	
		8 抗凝固薬、血清・血漿分離、保存法	
		9 保存期間	
	B 一般臨床検査	1 尿<定性・定量>	
		2 糞便<潜血・虫卵>	
		3 赤沈	
		4 喀痰	
		5 脳脊髄液	
		6 穿刺液	
		7 関節液	
		8 精液	
		9 子宮頸管粘液	
		10 腔分泌物	
	C 血液学検査	1 血液一般検査<網赤血球、赤血球形態、白血球形態を含む>	
		2 凝固・線溶・血小板機能検査	
		3 骨髄検査	
		4 溶血に関する検査	
		5 血液型・交差試験<クロスマッチ>・輸血関連検査	
	D 生化学検査	1 糖質及び糖代謝関連物質	
		2 蛋白・蛋白分画	
		3 含窒素成分	
		4 脂質および脂質代謝関連物質	
		5 酵素	
		6 水、電解質、酸・塩基平衡	
		7 重金属	
		8 微量元素	
		9 ビタミン	
		10 ホルモン	
		11 血中薬物・毒物と代謝産物	
		12 線維化マーカー	
	E 免疫学検査	1 感染の抗原・抗体	
		2 自己抗体	
		3 補体	
		4 免疫グロブリン	
		5 IgE、特異的 IgE 検査	
		6 細胞性免疫	ツベルクリン反応
7 食菌能			

大項目	中項目	小項目	備考
2 生体機能検査 約 15%	F 微生物学検査	8 移植免疫	組織適合(性)抗原 <HLA>
		9 細胞表面抗原	
		10 腫瘍マーカー	
		11 ラジオイムノアッセイ <RIA>	
		12 エンザイムイムノアッセイ <EIA>	
		1 病原微生物の同定・検鏡 [単染色、Gram 染色、 Ziehl-Neelsen 染色、墨汁 染色<墨汁法>、PAS 染色、 Grocott 染色、Giemsa 染色]	
		2 病原微生物の培養・分離・ 同定	
		3 免疫学的検査による迅速 診断	結核菌特異的全血 インターフェロン γ 応答測定法、尿 中抗原
		4 薬剤感受性試験	
		5 病原体別検査	細菌、抗酸菌、梅毒 トレポネーマ、 リケッチア、クラ ミジア、マイコプ ラズマ、レプトス ピラ、ウイルス、 真菌、原虫、寄生 虫
		6 ウレアーゼ試験、 <sup>13</sup> C 尿素 呼気試験	<i>Helicobacter pylori</i>
		7 PCR 法、RT-PCR 法	
	G 病理組織学検査、細胞診	1 生検検体採取法、内視鏡的 鉗子生検、ポリープ切除、 内視鏡的粘膜切除、経皮的 生検	
		2 生検・手術切除検体取扱法 <固定法、包埋法>	
		3 標本作製法<凍結切片を含 む>	
		4 迅速診断の適応、標本の取 扱法、診断限界	
		5 細胞診<検体採取、取扱法、 染色法>	Papanicolaou 染色
		6 病理学的組織検体の染色 法、組織化学染色	
		7 電子顕微鏡による病理検 査	
	H 染色体検査・遺伝子検査	1 分染法	
		2 性染色体	
		3 悪性腫瘍細胞の遺伝子検 査	
	A 呼吸機能検査	1 スパイロメトリ	
2 肺気量分画			

大項目	中項目	小項目	備考		
		3 肺コンプライアンス			
		4 気道抵抗			
		5 flow-volume 曲線			
		6 肺胞換気量			
		7 換気・血流比			
		8 拡散能力			
		9 動脈血ガス分析			
		10 パルスオキシメトリ			
		11 肺(換気血流)シンチグラフィ			
		12 睡眠時無呼吸症候群検査	ポリソムノグラフィ		
		13 ピークフロー			
		14 気道可逆性検査			
		15 気道過敏性検査			
		B 心機能検査		1 心電図、運動負荷心電図、Holter 心電図	
				2 心音図	
3 心エコー図、ドプラ<Doppler>法、カラードプラ法					
4 心筋シンチグラフィ					
5 心血管 CT、MRI					
6 心臓カテーテル検査、心血管造影検査、Swan-Ganz カテーテル検査、心臓電気生理学的検査					
C 消化管機能検査		1 唾液分泌検査、嚥下機能検査			
		2 消化管運動機能検査	食道内圧検査		
		3 pH モニタリング			
		4 胃液検査			
		5 消化吸収試験	Sudan III		
		6 蛋白漏出試験	$\alpha_1$ -アンチトリプシン法		
D 肝・胆道機能検査		1 色素排泄試験	indocyanine green<ICG>試験		
		2 胆汁検査	Meltzer-Lyon 法		
E 膵機能検査		1 外分泌機能検査	BT-PABA 試験		
		2 内分泌機能検査	経口グルコース負荷試験		
F 内分泌・代謝機能検査		1 視床下部			
		2 下垂体			
		3 甲状腺			
		4 副甲状腺<上皮小体>			
		5 副腎皮質・髄質			
		6 消化管			
		7 膵			
		8 腎臓			
		9 性腺・胎盤			
		10 心臓			
G 不妊症検査		1 子宮卵管造影法<HSG>			
		2 基礎体温			

大項目	中項目	小項目	備考	
		3 Huhner 試験		
		4 Rubin 試験		
		5 精液検査		
		6 Miller-Kurzrok 試験、頸管粘液		
		H 腎機能検査	1 クレアチニークリアランス	
			2 濃縮試験<Fishberg 試験>	
	3 フェノールスルホンフタレイン<PSP>試験			
	4 パラアミノ馬尿酸<PAH>クリアランス			
	5 イヌリノクリアランス			
	6 尿低分子蛋白・酵素			
	I 排尿機能検査	1 尿流量測定		
		2 膀胱内圧測定		
		3 内圧・尿流検査		
	J 勃起機能検査	1 夜間陰茎勃起測定		
	K 脳波検査	1 波形診断	発作性異常波	
		2 異常脳波賦活法		
		3 誘発電位		
		4 聴性脳幹反応<ABR>		
		5 ポリグラフィ		
	L 筋電図、神経伝導検査	1 針筋電図		
		2 誘発筋電図		
		3 表面筋電図		
		4 神経伝導速度		
3 皮膚・感覚器・発声機能検査 約 10%	A 皮膚検査	1 プリックテスト、皮内テスト		
		2 針反応		
		3 パッチテスト、光パッチテスト		
		4 光線テスト		
		5 皮膚感作試験		
		6 皮膚温測定法・サーモグラフィ検査		
		7 Tzanck 試験		
		8 Nikolsky 現象		
		9 ダーモスコピー試験		
		10 苛性カリ<KOH>直接検鏡法		
		11 皮膚描記法	Darier 徴候	
		12 硝子圧法		
		13 Wood 灯検査		
		14 発汗検査法		
		15 皮脂測定法		
	B 視器一般検査	1 徹照法		
		2 細隙灯顕微鏡検査		
		3 眼圧検査		
		4 眼底検査、蛍光眼底造影		
		5 隅角検査		
		6 涙液分泌検査		
		7 フレアセルフオートメトリ		

大項目	中項目	小項目	備考
	C 視機能検査	8 スペキュラーマイクロコピー	
		9 角膜知覚検査	
		1 視力検査	Landolt 環
		2 視野検査	
		3 暗点検査	
		4 色覚検査	
		5 光覚<暗順応>検査	
		6 屈折検査	
		7 調節検査	
		8 眼位検査	
		9 眼球運動検査	
	10 網膜電図<ERG>		
	11 視覚誘発電位<VEP>		
	D 聴覚・平衡機能検査	1 純音聴力検査<気導・骨導 閾値検査>	
		2 自記オージオメトリ	
		3 語音聴力検査	
		4 音叉検査	
		5 他覚的聴力検査	
		6 幼児聴力検査	
		7 インピーダンスオージオ メトリ	
		8 四肢平衡検査	
		9 眼球運動・眼振の検査	自発眼振、頭位・ 頭位変換眼振、温 度眼振、回転眼振
	E 嗅覚・味覚検査	1 オルファクトメトリ	
2 電気味覚検査			
3 濾紙ディスク検査			
F 発声・発語検査	1 発声機能検査		
	2 構音検査		
4 心理・精神機能検査 約 10%	A 心理学的検査	1 Minnesota 多面人格検査 <MMPI>	
		2 Rorschach テスト	
		3 簡易精神症状評価尺度 [Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>]	
		4 Hamilton うつ病評価尺度 <Hamilton Rating Scale for Depression>	
		5 ベック<Beck>のうつ病自 己評価尺度	
		6 状態特性不安検査<STAI>	
		7 気分プロフィール検査 <POMS>	
	B 知能検査	1 Wechsler 成人知能検査 <WAIS-III>	
		2 Wechsler 児童用知能検査 <WISC-R-III>	
		3 田中・Binet 式知能検査	
		4 Mini-Mental State	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 神経心理学的検査	Examination<MMSE>		
		5 改訂長谷川式簡易知的機能評価スケール		
		6 対語記憶力検査		
		7 Wechsler 記憶検査<WMS-R>		
		1 標準型失語症検査<SLTA>		
		2 標準高次視知覚検査		
		3 リバーミード行動記憶検査<RBMT>		
		4 Wechsler 記憶スケール<WMS>		
		5 ウィスコンシンカードソーティングテスト<WCST>		
		D 発達テスト	1 津守・稲毛式発達検査	
			2 スクリーニング法<日本版 Denver 式を含む>	
		5 妊娠・分娩・胎児・新生児の検査 約 10%	A 妊娠の検査	1 妊娠反応
2 超音波検査				
B 分娩の検査	1 超音波検査			
	2 陣痛曲線			
	3 胎児心拍数陣痛図			
C 胎児発育・成熟の検査	1 羊水検査			
	2 絨毛検査			
	3 超音波検査			
	4 胎児成熟度検査			
D 胎児機能不全 [non-reassuring fetal status<NRFS>]	1 胎児心拍数陣痛図			
	2 ノンストレステスト<NST>			
	3 コントラクションストレステスト<CST>			
	4 羊水鏡			
	5 血液ガス検査			
	6 羊水量			
	7 胎動			
E 胎児胎盤機能検査				
F 先天異常の検査	1 羊水検査			
	2 絨毛検査			
	3 胎児血液検査			
	4 超音波検査			
G 新生児の検査	1 新生児マススクリーニング			
	2 PIVKA-II			
	3 マイクロバブルテスト			
6 画像検査と内視鏡検査 約 30%	A 超音波検査		1 原理と検査技術	
			2 Bモード法	
			3 Mモード法	
		4 断層法		
		5 ドプラ<Doppler>法、カラードプラ法、パワードプラ法	造影超音波診断法	
		6 高・低エコー域		
		7 音響陰影		

大項目	中項目	小項目	備考
		8 音響増強	
		9 エコー下穿刺生検	
		10 血流測定	
		11 管腔内超音波検査<血管、胆管、膵管、気管支>	
	B 電離放射線	1 種類	
		2 発生装置	
		3 相互作用	
		4 線質	
		5 放射性同位元素	
		6 崩壊形式	
	C 放射線の単位と測定	1 単位<照射線量 C/kg、吸収線量 Gy、線量当量 Sv、放射能 Bq>	
		2 測定	
	D 非電離放射線	1 電波	
		2 レーザー	
		3 赤外線	
		4 紫外線	
	E 放射線等検査用機器・器材	1 エックス線撮影、透視装置・器材<フィルム、増感紙、グリッド、蛍光増倍管、イメージングプレート、平面検出器>	
		2 血管撮影装置、DSA<digital subtraction angiography>装置	
		3 CT装置	
		4 核医学検査装置	ガンマカメラ
		5 磁気共鳴画像<MRI>装置	
	F 医療放射線被曝の軽減	1 正当化	
		2 最適化	
		3 男性・女性の放射線診断での注意	
	G 臨床検査機器・器材	1 機器の管理と理論	
		2 検体検査装置	
		3 生体機能検査装置	
		4 監視装置	
	H 検査における医療情報	1 検査情報検索システム	
2 診療支援システム			
I エックス線単純撮影	1 種類と適応		
	2 コントラスト		
	3 鮮鋭度		
	4 DR<デジタルラジオグラフィ>、CR<コンピューテッドラジオグラフィ>		
J 血管造影	1 種類と適応		
	2 造影剤		
	3 合併症		
K 消化管造影	1 種類、適応、禁忌		
	2 造影剤		
L 尿路造影	1 種類と適応		
	2 造影剤		

大項目	中項目	小項目	備考
	M その他の造影検査	3 合併症	
		1 唾液腺造影	
		2 咽頭造影	
		3 胆道<胆嚢・胆管>造影	
		4 経皮経肝胆道造影<PTC>	
		5 内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP>	
		6 子宮卵管造影<HSG>	
		7 関節造影	
		8 脊髓腔造影<ミエログラフィ>	
	9 椎間板造影		
	N CT検査の原理と技術	1 検出器	
		2 ヘリカルCT	
		3 MDCT<multidetector-row CT>	
		4 三次元再構成画像<冠状断、矢状断>	
	O 単純CT	1 適応	
		2 CT値	
		3 高・低吸収域	
	P 造影CT	1 適応と禁忌	
		2 造影剤	
		3 造影効果	
		4 副作用	
	Q ダイナミックCT	1 造影法、3次元CT血管撮影<3D-CTA>	
		2 造影剤動態	動脈優位相、門脈相、平衡相
	R 磁気共鳴画像<MRI>検査の原理と技術	1 スピンエコー<SE>法	
		2 グラディエントエコー<GRE>法	
		3 安全管理	絶対禁忌と相対禁忌
	S 単純磁気共鳴画像<単純MRI>	1 適応	
		2 MR信号	
		3 T1・T2・プロトン密度	
		4 脂肪抑制・水抑制・水強調画像	
5 T2*強調像、FLAIR像			
6 拡散強調像			
7 MRS<MRスペクトロスコピー>			
T 造影磁気共鳴画像<造影MRI>	1 適応		
	2 造影剤と副作用		
	3 造影効果		
U 磁気共鳴血管撮影<MRA>	1 適応		
V 磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>			
W 核医学検査の原理と技術	1 放射性医薬品		
	2 トレーサー原理		
X シンチグラフィ	1 適応		
	2 撮影法		
	3 シングルフォトンエミツ		



大項目	中項目	小項目	備考
		シオン CT<SPECT>	
		4 ポジトロンエミッション断層撮影<PET>	PET/CT
	Y 内視鏡の種類	1 硬性鏡	
		2 ファイバースコープ	
		3 電子スコープ	
		4 拡大内視鏡、カプセル内視鏡	
		5 超音波内視鏡	
	Z 内視鏡検査の適用部位	1 外耳、中耳	
		2 鼻、副鼻腔	
		3 咽頭、喉頭	
		4 気管、気管支	気管支肺胞洗浄<BAL>
		5 胸腔	
		6 縦隔	
		7 消化管	
		8 肛門	
		9 胆道	
		10 腹腔	
		11 泌尿器<膀胱、尿道、尿管>	
		12 女性性器<コルポスコピイ、ヒステロスコピイ>	
		13 関節腔	
	AA 内視鏡検査の基本手技と合併症	1 検査前全身状態の評価と前処置	
		2 基本的手技<局所麻酔、挿入、生検、擦過診、色素、散布>	
		3 合併症	

## IX 治療 [約 15%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 食事・栄養療法 約 10%	A 食事・栄養療法の基本	1 栄養アセスメント<評価・判定>	
		2 食事摂取基準量	
		3 栄養ケア	
		4 食事療法	
		5 妊・産婦の栄養マネジメント<栄養管理>	
		6 乳幼児の栄養マネジメント<栄養管理>	
		7 高齢者の栄養マネジメント<栄養管理>	
	B 栄養摂取の方法	1 経口栄養	
		2 経管・経腸栄養	
		3 経静脈栄養、中心静脈栄養	
	C 疾病と栄養	1 糖尿病	
		2 肥満、過栄養、やせ、栄養障害	
		3 脂質異常症<高脂血症>	
		4 胃・腸疾患	
		5 肝疾患	
6 胆道疾患			
7 脾疾患			
8 腎疾患			
9 痛風			
10 高血圧症			
11 乳幼児の下痢			
12 妊娠、妊娠悪阻			
13 妊娠高血圧症候群			
14 先天代謝異常			
15 骨粗鬆症			
2 薬物療法 約 10%	A 薬物の選択	1 病態	
		2 薬物動態	
		3 身体的素因	
	B 薬物動態	1 吸収、分布、代謝、排泄	
		2 一回投与、反復投与	
		3 治療薬物モニタリング<TDM>	
		4 遺伝子多型	
		5 民族的要因	
	C 薬効	1 薬効を左右する因子	
		2 薬物の相互作用<相乗、拮抗、酵素誘導、酵素阻害>	併用禁忌
		3 食物・嗜好品との相互作用	
		4 薬効の評価、偽薬効果	
		5 適応と禁忌	
	D 用法・用量	1 投与経路と種類の特徴<経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻>	
		2 剤型	
		3 服薬計画	併用薬
4 服薬指導		緩和医療	

大項目	中項目	小項目	備考
		5 コンプライアンス、アドヒアランス	
		6 新生児、小児、妊婦、高齢者	
		7 肝障害、腎機能障害	
	E 副作用	1 種類	
		2 機序	
		3 対策	
	F 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬	1 種類	
		2 取り扱い	
		3 適応と副作用	
3 輸液、輸血、血液浄化 約10%	A 輸液	1 適応と一般的注意	
		2 輸液の種類と用法	
	B 輸血	1 適応と一般的注意	
		2 適正使用	
		3 血液型と交差試験<クロスマッチ>	
		4 同種輸血と自己輸血	
		5 成分輸血<赤血球濃厚液、洗浄赤血球、濃厚血小板、新鮮凍結血漿、血漿分画製剤>	
		6 交換輸血	
		7 輸血時の副作用	
		8 輸血後 GVHD	
		9 輸血関連急性肺障害	
		10 輸血による感染症	
	C 血液浄化	1 血液透析	
		2 腹膜透析	
3 血漿交換			
4 血液吸着・濾過			
4 手術、周術期の管理、麻酔 約10%	A 手術	1 外科的侵襲に対する反応	
		2 ショック	
		3 臓器障害〔腎不全、肝機能障害、急性肺障害・急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>、心不全〕	
		4 多臓器不全<MOF>	
		5 出血、止血・凝固・線溶異常	
		6 手術適応と手術時期	
		7 消毒と滅菌	
		8 基本的手術手技<切開法、止血法、結紮・縫合法、植皮術、ドレナージ、減圧法、包帯法>	
	B 周術期患者の管理	1 術前評価、術前処置、麻酔前投薬	
		2 術中全身管理<気道確保、輸液・輸血、心血管作動薬、酸・塩基平衡、モニタリン>	

大項目	中項目	小項目	備考
		グ、悪性高熱症>	
		3 術後管理と集中治療<体位、疼痛管理、呼吸・循環管理、脳圧管理、体液管理、栄養管理、感染症の予防、手術創の処置、離床、合併症>	
	C 麻酔	1 吸入麻酔法	
		2 静脈麻酔法	
		3 筋弛緩薬とその拮抗薬	
		4 低血圧法	
		5 低体温法	
		6 小児麻酔、高齢者の麻酔	
		7 産科麻酔、無痛分娩	
		8 特殊疾患の麻酔<内分泌疾患、頭蓋内疾患、心臓疾患、肺疾患>	
		9 局所麻酔薬	
		10 脊髄(脊椎)麻酔法	
		11 硬膜外麻酔法	
		12 伝達麻酔法[腕神経叢ブロック、閉鎖神経ブロック、指(Oberst)ブロック]	
		13 浸潤麻酔、表面麻酔	
		14 麻酔合併症、麻酔事故	
		15 疼痛の管理<ペインコントロール>	
5 臓器・組織移植、人工臓器、再生医療 約7%	A 移植の種類と適応	1 心臓	
		2 心臓弁	
		3 血管	
		4 肺	
		5 小腸	
		6 肝臓	
		7 膵臓	
		8 腎臓	
		9 造血幹細胞	臍帯血、骨髄、末梢血幹細胞
		10 角膜	
		11 骨	
		12 皮膚	
	B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>	1 自家・同種・異種移植	
		2 ドナーの種類	脳死体、脳死以外の死体、生体
		3 日本臓器移植ネットワーク	
		4 アイバンク	
		5 組織バンク	
		6 同意の条件	意思表示カード
		7 倫理的・文化的配慮	
	C 移植と免疫	1 組織適合性	
		2 拒絶反応、GVHD	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 人工臓器の種類と適応	3 免疫抑制	
		4 無菌室治療	
		1 人工腎臓	
		2 人工血管、人工弁<機械弁、生体弁、同種生体弁>	
		3 人工心肺、体外循環	脳分離体外循環、心筋保護液
		4 補助循環<IABP、LVAS、LVAD、PCPS>	
		5 心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器<ICD>	
		6 人工関節	
		7 人工骨	
		8 人工腱	
		9 人工靭帯	
	10 眼内レンズ		
	11 人工内耳		
	E 再生医療		
6 放射線治療 約7%	A 放射線感受性	1 正常組織の放射線感受性	
		2 腫瘍の放射線感受性	
		3 放射線治療可能比 <正常組織耐容線量/腫瘍致死線量>	
	B 放射線効果の修飾	1 酸素効果	
		2 放射線増感剤	
		3 温熱効果	
		4 細胞周期	
		5 線エネルギー付与<LET>	
		6 線量率	
	C 空間的線量分布	1 深部線量百分率	
		2 等線量曲線	
		3 線量計算	
		4 標的体積の決定	
	D 時間的線量配分	1 通常分割照射	
		2 多分割照射	
		3 少<寡>分割照射	
		4 回復・再増殖・再酸素化・再分布<4R>	
	E 装置と治療技術	1 外照射	画像誘導放射線治療<IGRT>、定位放射線照射、強度変調放射線治療<IMRT>、重粒子線治療
		2 密封小線源治療	
		3 放射性同位元素<RI>内用療法<内(部)照射療法>	
		4 治療の質と安全管理	
	F 放射線治療の適応	1 根治的照射	
		2 準根治的照射	
		3 対症的照射	
	G 集学的治療	1 術前・術中・術後(周術期)	

大項目	中項目	小項目	備考
		照射	
		2 化学療法との併用	
	H 照射の有害反応		
7 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>] 約7%	A 血管系治療	1 適応	
		2 塞栓術	
		3 バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤閉塞<BRTO>	
		4 拡張術<血管拡張術、弁拡張術>	経皮的冠動脈形成術<PTCA>、経皮的冠動脈インターベンション<PCI>、ステント留置術
		5 ステントグラフト内挿術	
		6 血栓溶解療法	
		7 カテーテルアブレーション	
		8 異物除去術	
		9 動注化学療法	
	B 非血管系治療	1 適応	
		2 方法 超音波下治療、CT(ガイド)下治療	
		3 ドレナージ	
		4 嚢胞穿刺	
		5 除石術	
		6 拡張術、ステント留置	
		7 胃瘻造設	
		8 神経ブロック	
9 経皮的局所療法<ラジオ波焼灼、エタノール注入、マイクロ波凝固>			
10 微小線源埋め込み療法			
11 骨セメント注入療法			
8 内視鏡治療 約7%	A 種類と適応	1 止血、凝固、結紮、クリッピング	
		2 硬化療法	
		3 切開、切除	
		4 拡張、ステント留置	
		5 照射、レーザー	
		6 異物除去	
		7 内視鏡下手術	
9 リハビリテーション 約10%	A リハビリテーションの概念	1 理念	
		2 分野<医学的リハビリテーション、教育的リハビリテーション、障害児療育、職業(的)リハビリテーション、社会(的)リハビリテーション、心理学的リハビリテーション、リハビリテーション工学>	
		3 リハビリテーション・プログラム	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 リハビリテーション・チーム	
		5 自立生活支援	
		6 社会参加	
		7 地域リハビリテーション	
	B リハビリテーションの技術	1 理学療法	
		2 作業療法	
		3 言語聴覚療法	
		4 日常生活動作<ADL>訓練	
		5 心理療法<認知リハビリテーション>	
		6 自立訓練	
		7 義肢<義手、義足>	
		8 装具	
		9 歩行補助具	杖、歩行器
		10 車いす	
		11 自立支援機器	
		12 補聴器	
		13 摂食・嚥下訓練	
		14 排尿・排便訓練	
	C 身体障害のリハビリテーション	1 脳血管障害	
		2 頭部外傷	
		3 脊髄損傷	
		4 脳性麻痺	
		5 神経・筋疾患	
		6 骨・関節疾患	
		7 切断	
		8 視覚障害	
		9 聴覚・平衡障害	
		10 音声・言語・咀嚼機能障害	
		11 内部障害<心臓、呼吸器、腎臓、膀胱・直腸、小腸>	
		12 廃用症候群	
	D 精神障害のリハビリテーション	1 生活指導	
		2 作業療法	
		3 レクリエーション療法	
		4 生活技能訓練[social skills training<SST>]	
		5 デイケア・ナイトケア	
		6 ナイトホスピタル	
		7 作業所	
		8 授産所	
		9 職親	
10 一般就労援助<職業リハビリテーション>			
11 地域生活支援センター		グループホーム、福祉ホーム、福祉工場、援護寮	
12 患者会、患者クラブ			
E 知的障害のリハビリテーション	1 医療と教育との連携		
	2 生活指導		
	3 生活技能訓練[social		

大項目	中項目	小項目	備考
		skills training<SST>]	
		4 作業療法	
		5 作業所	
		6 授産所	
		7 就労支援	
	F 重症心身障害児のリハビリテーション	1 早期療育	
		2 特別支援教育	
		3 家族支援	
10 2次・3次救急患者の治療 約13%	A 救急医療システム	1 病院前救護	
		2 集中治療室	
	B 脳心肺蘇生	1 気道確保	気管(内)挿管、輪状甲状軟骨間膜切開、気管切開
		2 気道内異物除去	
		3 人工呼吸	
		4 心(臓)マッサージ<胸骨圧迫式、開胸>	
		5 除細動	
		6 自動体外式除細動器<AED>	
		7 致死的不整脈の治療	
		8 緊急ペーシング	
		9 静脈路確保	
		10 酸素療法	
		11 薬物療法	
		12 脳蘇生	
		13 血液浄化法	
		14 機械的循環補助<IABP、PCPS>	
	C 2次・3次救急に必要な処置	1 心嚢穿刺・ドレナージ	
		2 胸腔穿刺・ドレナージ	
		3 腹腔穿刺・ドレナージ	
		4 膀胱穿刺・ドレナージ	
		5 輸液、輸血	
		6 薬物療法	
		7 内視鏡的止血術	
		8 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	
		9 (カテーテル)塞栓術	
		10 消化管内圧減圧治療	イレウス管
	D ショックの治療	1 循環血液量減少性ショック	
		2 心原性ショック	
		3 血管原性ショック	
		4 閉塞性ショック	緊張性気胸、心タンポナーデ
	E 重症救急病態	1 急性呼吸不全、急性肺障害<ALI>、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
		2 急性心不全	
		3 急性腎不全	



大項目	中項目	小項目	備考
	F 外傷の治療・処置	4 急性肝不全	
		5 播種性血管内凝固<DIC>	
		6 多臓器不全<MOF>	
		1 創傷の治療・処置<洗浄、デブリドマン、止血、縫合、創閉鎖、皮膚欠損の処置、破傷風とガス壊疽の予防>	
		2 骨折・捻挫・脱臼の治療・処置	
		3 頭部外傷	
		4 顔面・頸部外傷	眼外傷
		5 胸部外傷	
		6 腹部外傷	
		7 骨盤・四肢外傷	
		8 脊椎・脊髄外傷	
		9 泌尿器・生殖器外傷	
		10 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	
	11 デグロービング損傷		
	12 高エネルギー外傷		
	13 多発外傷	部位別治療優先順位の判定	
	G 急性中毒の治療・処置	1 維持療法	
		2 胃・腸洗浄	
		3 強制利尿	
		4 血液浄化法	
		5 解毒・拮抗薬	
		6 高濃度酸素療法	
	H 熱傷の治療・処置	1 全身療法<輸液の公式、感染防止>	
		2 重症度判定	
		3 局所療法<減張切開、デブリドマン、局所療法剤、早期焼痂切除、植皮>	
		4 気道熱傷の治療	
		5 特殊部位の治療<顔面、手、外陰部>	
		6 合併症<急性腎不全、Curling 潰瘍、敗血症、栄養障害>	
		7 電撃・雷撃症の治療・処置	
		8 化学損傷の治療・処置	
	I 環境異常の治療	1 熱中症	
		2 偶発性低体温(症)	
		3 凍傷	
4 減圧症、酸素欠乏症、高山病			
5 急性放射線障害			
J 異物・溺水、刺咬症の治療・処置	1 異物		
	2 窒息、溺水		
	3 刺咬症		
K 産科的救急治療・処置	1 母体・新生児搬送		
	2 急速遂娩	帝王切開、鉗子、	

大項目	中項目	小項目	備考
			吸引分娩
		3 産科ショック	
		4 胎児機能不全 [non-reassuring fetal status<NRFS>]	
	L 新生児の救急治療・処置	1 新生児蘇生法	
		2 新生児集中治療室	
	M 乳児の救急治療・処置		
11 緩和医療 約6%	A 苦痛の緩和	1 癌性疼痛	
		2 疼痛のアセスメント	
		3 癌疼痛治療法<WHO 方式>	
		4 痛み以外の症状の緩和	
		5 緩和的外科治療	
		6 緩和的放射線治療	
		7 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	
	B オピオイド	1 弱オピオイド	
		2 強オピオイド	
		3 オピオイドレセプター	
		4 タイトレーション	
		5 オピオイドローテーション	
		6 等鎮痛量	
		7 オピオイド関連障害	
		8 鎮痛補助薬	
	C ホスピス・緩和ケア	1 ホスピスケアの基準	
		2 QOL<quality of life>	
		3 全人的苦痛<トータルペイン>	
		4 スピリチュアルペイン	
		5 学際的チーム医療 <Interdisciplinary team care>	
		6 緩和ケア病棟<PCU>	
		7 緩和ケアチーム	
		8 在宅ホスピス・緩和ケア	
		9 悲嘆のケア<グリーフケア>、遺族ケア<ビリーブメントケア>	
12 その他の治療法 約4%	A 酸素療法(急性期、慢性期)	1 適応	
		2 合併症	CO <sub>2</sub> ナルコーシス
		3 在宅酸素療法	
	B 高圧酸素療法	1 適応	
		2 合併症	
	C 人工換気	1 適応	
		2 補助呼吸	
		3 持続的気道陽圧法<CPAP>	
		4 間欠的陽圧換気<IPPV>	
		5 持続的陽圧換気<CPPV>	

大項目	中項目	小項目	備考
		6 間欠的強制換気<IMV>	
		7 高頻度換気<HFV>	
		8 非侵襲的人工換気<NIPPV>	
	D 呼吸理学療法	1 排痰法	
		2 呼吸訓練	
	E 物理療法	1 凍結療法	
		2 温熱療法	
		3 電気治療	
	F 光線療法	1 新生児黄疸に対する治療	
		2 PUVA 療法	
	G レーザー療法		
	H 体外衝撃波結石破碎術<ESWL>		
	I 電気けいれん療法		
	J 免疫療法	1 減感作療法	
		2 訓練療法	
		3 抗癌療法	
	K 生殖補助技術<ART>	1 体外受精-胚移植<IVF-ET>、顕微授精<ICSI>	
	M 精神療法	1 精神分析療法	
		2 自律訓練法	
		3 森田療法	
		4 行動療法	
5 認知行動療法			
6 心理教育<サイコエデュケーション>			
7 芸術療法			
8 遊戯療法			
9 家族療法			
10 集団療法			
11 カウンセリング			
N リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>		サイコオンコロジー	

